

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

子どもが主役 自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

しかし、不登校児童生徒の中には、「けやき広場」、別室登校といった教室以外の「学びの場」や教育相談機関につながれておらず、見通しが持てないケースや不登校が長期化しているケースがあった。

児童生徒にとっての学びの場や居場所として、学校・けやき広場・家庭以外の、一人一人の状況に応じた多様な選択肢が必要であることから、家庭への寄り添い支援を担当する市長部局の子ども政策室と保健福祉の専門職（社会福祉士・保健師等）、教育委員会で構成する不登校支援連携チームを発足した。

さらに、教育機会確保法に基づく多様な学びの機会を保障するため、本市の多様な学びの場・居場所の核となる「公設フリースクールの設置」に向け、検討を重ねてきた。

取組内容

交付実績額： 7,786 千円

多様な学び、安心できる居場所「SIROらぼ」の確保

- ・学校に行けないが家以外の場所で過ごしたい子どもや、自宅から出にくい子ども向けに、学びの保障や社会体験の機会となる居場所を福知山駅周辺に設置。
- ・家庭から第一歩を踏み出そうとする子どもが、安心して自分らしく過ごす中で、人と関わるたのしさを経験したり、じっくり話を聴いて受け止めてもらえる経験を積み重ね、次のステップへ向かい、それぞれの社会的自立につなげていく。
- ・多様な学び推進連携チーム（不登校支援連携チーム）で関わる子どもに、子ども政策室の相談員から声かけを行い、希望に応じて時間を決めて利用できる。（予約制）
- ・決められたプログラムはなく、利用希望する子どもが何をしたいか一緒に考えながら活動を実施
- ・支援員と1対1の活動や2～3人での小グループで活動することができる。

【主な活動】

- ①ボードゲームやオセロ、トランプ、ジエンガなどの遊び
- ②クッキング、カバン作りなどの実習
- ③教科学習など子どもたちが興味を示す学び、体験活動
- ④月1回の休日個別相談会及び保護者同士の交流会開催



事業の成果・今後の展望等

今まで家の外にほぼ出ていない子どもたちが、家から一歩踏み出し、安心して過ごすことができる場所で心に充電し、次のステップに向かうための居場所となっている。

当初の想定を上回り、定期利用や新規利用が増えていく中で、子どもの内面へのアセスメントや発達的な視点で関わる専門人材の確保や、子どもたち一人一人のニーズに応じて小集団でフリーで活動できるスペースと自分一人でゆっくりと過ごせるスペースを確保する必要性が見えてきた。

令和5年度から3年間のモデル事業として居場所を運営する中で、子どもの声や思いを引き出し、今後の多様な学びの方向性を模索し、形にしていく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

市立学校アナザークラス（A組）開設事業（不登校児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

このプランに基づき、登校ができるが様々な要因により所属学級になじめず別室登校、放課後登校等の状況にある児童生徒に対して、学校内でのもう一つの居場所を設置し、個別の学習支援や社会的自立に向けた見守り等を進め、社会で生きる力の育成に取り組む。

取組内容

交付実績額： 2,805 千円

所属する学級等ではなく、別室や放課後に登校する児童生徒に、学校内でのもう一つの教室（アナザークラス（A組））を新たに設置

- ・学校でのもう一つの居場所と多様な学びの場を確保
- ・アナザークラス（A組）では、支援員や教職員等学校全体で、児童生徒に寄り添いながら個別の学習支援や社会的自立に向けた見守りを進める。
- ・児童生徒が自分で学習計画を立て、自分のペースで学習ができる環境を整備



事業の成果・今後の展望等

校内に設けたもう一つの教室（アナザークラス（A組））により「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進し、不登校児童生徒の多様な学びと居場所を確保できた。

本人の希望により元の所属学級の授業や行事に自由に参加できるなど、不登校児童生徒一人ひとりのニーズに対応できるよう、今後も、不登校児童生徒の多様な学びと居場所を確保していく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

心の居場所づくり推進事業（不登校児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

不登校及び長期欠席傾向となる児童生徒が増加する中、児童生徒の個々のニーズや多様な学びへの対応を十分に進めるため、適応指導教室「けやき広場」の機能を充実する。

取組内容

交付実績額： 3,474 千円

「けやき広場」に指導員・相談員を配置し、学校との連携のもと不登校傾向の児童生徒の実態把握や学校への適切な支援を行う。

また、個々に応じた支援により児童生徒の主体性・自発性の育成や人間関係の改善を図り、いろいろな経験や体験を通して自信をつけ新しい一歩を踏み出すエネルギーを蓄え、ゆるやかに前進できるよう支援を行う。

※けやき広場・・・登校しにくい小中学生のために不安や悩みを解消できるよう、保護者・子ども・学校とともに取り組んでいく場（学校外に設置）



事業の成果・今後の展望等

けやき広場に指導員・相談員を配置し、不登校傾向の児童生徒の悩み、不安・ストレス等を解消するため個別に対応することにより、子どもが安心して学校に登校することができるようになった。

今後も、子どもへの丁寧な対応や適切な援助・指導体制をとるとともに、個々に応じた支援により、主体性、自発性の育成や人間関係の改善を図り、学校復帰、自立支援を促進していく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別支援教育推進事業（特別な支援を要する児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、就学前スクリーニング・思春期スクリーニングの実施や、移行支援シート等の活用により、発達障害等の早期発見、早期支援及び円滑な移行を行い、発達障害を含む障害のある子どもの生涯にわたるつなぎの支援を行っている。

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒が増加し、様々な教育的ニーズへの対応が求められる中、発達課題等、読み書きに困難のある児童を早期に発見し、その特性に応じた支援を行う必要がある。

取組内容

交付実績額： 1,760 千円

発達課題等、読み書きに困難のある児童の早期発見と特性に最適化されたレッスンを提案する学習支援ソフトウェア「まるぐランド」を導入し、基礎学力の向上を図る。

児童の特性の確認分析と確認分析結果に応じて個別学習に適応したレッスンを提供

○まるぐランド

- ・チェックリストでの特性の把握
- ・個別最適化されたレッスンを自動提案
- ・児童の取組の様子や成長を可視化



事業の成果・今後の展望等

読み書きに困難のある児童を早期に発見し、特性に配慮しながら個に応じた方法で読み書きスキルをつけることにより、学習基盤を作り、基礎学力の向上を図ることができた。

令和5年から3ヶ年計画で、読み書きの発達特性の確認と個別最適な学習を支援するソフトウェアを活用した学習支援を実施する。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）